



園だより

最後までやりとげよう。

今月の予定

日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食・お弁当
				長	中	少	
1	木	願書受付(手続き)、在園児お休み	休園				
2	金		-日	○			○
5	月	交通安全教室	-日				
6	火		-日		○		○
7	水		半日				
8	木	年長組ルネサンスプール 年中組お茶のお作法	-日				○
9	金		-日			○	○
10	土	おやおや活動	休園				
12	月		-日				
13	火		-日			○	○
14	水	公開研究会	休園				
15	木	年中組ルネサンスプール おやおや活動	-日				○
16	金	避難訓練・たてわり保育	-日	○			○
17	土	ネイチャーランドQ園隊	休園				
19	月	年長お茶のお作法	-日				
20	火		-日		○		○
21	水	お誕生会	半日				
22	木		-日				○
26	月		-日				
27	火		-日				○
28	水	おさらい会予行1部・写真	-日				
29	木	おさらい会予行2部・写真	-日				○
30	金	おさらい会予行3部・写真	-日				○

【願書受付】

来年度の願書配布に際しては、保護者のみなさまのご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、たくさん配布することができました。

11月1日(木)は、来年度の新入園児願書受付のため、在園児は休園となります。

【年長組、就学前健康診断】

進学予定の学校ごとに日程が異なります。当日は、幼稚園を早退しても、お休みしても出席扱いとなります。その場合、れんらく帳で前日までに担任にお知らせ下さい。(上靴も持ち帰ります。)

【通園カバンのアクセサリ】

年度初めの「みだしなみはだいじょうぶ?」をお願いしましたように、通園カバンにはキーホルダーをつけないでください。お友だちとすれ違うときに、怪我をしたりさせたりすることがあります。今、付けている方は、お子さまにお話をして取り外してください。

お守りなどの柔らかいものも、ひもを短くするなどして、安全にはご留意下さい。

【実習生がきます】

27日から30日まで、緑ヶ丘中学5人、小中台中学3人、川村学園大学1人の実習生が、体験学習や実習にきます。



【園でのお薬の服用について】

どうしても飲まなければならぬ薬以外は、ご遠慮いただきたいと思えます。たとえば、

- ・食間の薬は、帰宅後に・・・。
 - ・時間をあけるものは、登園時間をさけて・・・。
- などの、ご協力をお願いいたします。

今月の保育

単元	保育のねらい	主な活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・クラス全体に目的に向かって、自分なりの力を発揮しながら取り組もうとする。	「おさらい会にむけて」	運動会、秋たんけんにも発揮されていたように、行動も言葉も、驚くほどの成長が見られます。日々の活発なコミュニケーションの中で、いろいろな葛藤も経験しています。人の気持ちにも気づける、善悪の判断も考えられる、生涯で大切な年齢です。気持ちを支えながらも、子どもが自分で勇氣を持って自分の思いを表現できるよう応援しましょう!
	・自分の気持ちをしっかり(きちんと!!)言葉に出して伝えることを意識する。	「心と相談して・・・伝えよう!」	
年中組	・友だちと思いを伝え合ったり、イメージをふくらませながら、遊びを楽しむ。	「〇〇するひと、よっといで〜!」(遊び、コミュニケーションのひろがり)	園での遊びが、思いを伝え合いながら、自分らしい楽しみになってきています。お互い、自分を出せばトラブルもあります。被害者、加害者は、定まっているわけでなく、お互い様で関係です。言葉や力加減を模索しながら、友だちを「好き」「大切」との思いを育みつつ、コミュニケーションの方法を学んでいます。わが子の踏ん張っている力を、信じましょう。
	・みんなで一緒に踊るなど、表現しながら、おさらい会への期待をふくらませる。	「ドキドキ! ワクワク!! おさらい会」	
年少組	・いろいろな楽器を、自由に鳴らしたり、リズムに合わせて鳴らしたりしながら、楽器に親しむ。	「♪タンタン・チリリン・シャンシャン♪ いい音するね! 何の音?」	秋たんけんでは、葉の下の蔓の下の土の中に、ようやく顔をだしたおいもに、友だちと力を合わせ、根気良く粘り強く掘り出していました。これまでのお友だちとのかわりが楽しく嬉しい気持ちや自信を育てています。3歳児は、夢中になると、他が見えにくくなります。出きるだけ声をかけ、友だちの存在を大切にす橋渡しをしましょう。
	・友だちと共通のイメージを持ち、ルールを理解しながら、皆の中に加わって遊びを楽しむ。	「今日は、何してあそぶ?」(グループや、クラスで)	

【おさらい会組合せ】

組合せは、ご兄弟在園で一日中、あるいは2日になる方もいらっしゃいます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

部	1部	2部	3部
日時	12月8日(土) 9:00~11:30	12月8日(土) 13:00~15:30	12月9日(日) 9:00~11:30
クラス	たんぼぼ すみれ れんげ	すずらん ゆり ばら	ちゅうりっぷ さくら ひまわり

子育て刺激人!

10月の「秋たんけん」では、さつま芋だけでなく、たくさん収穫がありました。



日ごろ、にんじん嫌いな子もサツマイモごはんに入っていたにんじんを平気で食べることができました。サツマイモが入った味噌汁も、ふだんお家では味噌汁が苦手な子もいたでしょうに、おかわりをたくさんしました。園庭で転ぶと泣いてしまう子も、さつまいも畑では転んでもすぐに起き上がって、芋のつるを引っ張っていました。

にんじんは体にいいから食べなさいとか、お味噌汁は発酵食品で体を丈夫にするから食べなさいといけないよとか、転んでべそをかく子に、もうお兄ちゃんなんだから自分で起きなさいなどなど、いくら口で言ってもなかなか食べられなかったり、できなかったり・・・それが、ネイチャーランドに出かけると、どの子も人が変わったようになるのはどうしてなのでしょう。野生の本能が目覚めるのか、あるいは環境がそうさせるのか、どうも不思議で仕方ありません。

でも、そんな姿を見ると、今教育の現場で言われている「生きる力」というのは、教育で身につくものなのだろうかという疑問が頭をもたげます。

ネイチャーランドの子どもたちの姿を思い浮かべると、「生きる力」はもともと子どもたちに備わっているんじゃないだろうか。そこにちょっと刺激を与えるだけで、子どもたちに潜在している「生きる力」が発現する気がしてきます。

私たち大人は、子どもにとって良き刺激を与える「刺激人」にならなければいけないのかもしれませんが。生活は衣食住と習いましたが、子どもにとっての生活の基礎は、「食う」「寝る」「遊ぶ」。この三点にポイントをおい

て刺激すると、「生きる力」はどんどん発現するのではないのでしょうか。

